



公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

岡放技ニュース

Okayama Association of Radiological Technologists Since November 21th,1951 URL:<http://www.oart.jp>

発行責任者 高尾 渉 編集者 編集委員会

2023.7 No.316

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515

MAIL: oart@oart.jp

< 会 告 >

研修会名 : 第148回 岡放技セミナー

主 催 : 公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

日 時 : 2023年 9月3日(日) 12:25 - 15:15(受付 12:30~)

場 所 : 岡山旭東病院 1F パッチアダムスホール

開催方法 : 集会および webinar(参加方法などの詳細は岡山県診療放射線技師会ホームページ

<http://www.oart.jp/> を参照ください)

参 加 費 : 会員・学生は無料 非会員 2,000 円

後 援 : 岡山県(予定)

*集会への参加は先着申し込み 30名様に限る

*岡放技セミナー研修会には「日本診療放射線技師会学術研修カウント」が付与されます

*オンラインにつきましては何かしらの通信障害が発生する可能性がありますことをご了承ください

— プログラム —

12:25~12:30 【会長挨拶】

12:30~13:00 【Lunch-Free Seminar】

AI 最新情報

『 AI 技術を活用した新しい CT 撮影の提案 』 (株) 富士フィルムヘルスケア

折田齊倫 先生

13:05~14:05 【教育講演】

肺がん部会研修会

『 肺癌に対する放射線治療 』

川崎医科大学 医学部臨床医学 総合放射線医学

渡邊謙太 先生

14:10~15:10 【教育講演】

『 未 定 』

独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター

竹内一裕 先生

※ 詳細が決まり次第、ホームページに掲載します。ご参照下さい。



事務所開所時間 : 月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00~12:00

令和5年度フレッシュャーズセミナーのご案内

研修会名：第149回岡放技セミナー（フレッシュャーズセミナー）
主 催：（公社）岡山県診療放射線技師会・（公社）日本診療放射線技師会
日 時：令和5年9月9日（土） 13時30分～18時10分 受付13時～（予定）
場 所：ピュアリティまきび
〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 2-6-41 TEL 086-232-0511
参加費：無料
プログラム 13:30～14:00 『医療人のエチケットマナー・電子メールのマナー』
14:00～15:00 『新人のための医療安全講座』
15:10～16:10 『感染対策講座』
16:10～17:40 『気管支解剖講座』
17:40～18:10 『フレッシュャーズへのメッセージ』

今年度も日本診療放射線技師会との共催でフレッシュャーズセミナーを開催します。
どなたでも参加できますので多数のご参加をお待ちしております。

第22回情報交換会のご案内

【日時】令和5年9月9日（土） 18:30～
【会場】ピュアリティまきび 1F レストラン『パルティール』
〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 2-6-41 TEL 086-232-0511
【内容】バイキング＋飲み放題（アルコール、ソフトドリンク）
【参加費】新入会員（本年度入会予定者も含む）無料（他県からの転入者も含む）入会后 3年以内の会員 1,500円（他県からの転入者も含む）一般会員 3,000円
【申し込み先】公益社団法人岡山県診療放射線技師会 事務局
FAX：086-235-1515 MAIL：okahougi_jimu@yahoo.co.jp
申し込みメールの件名は必ず“第22回情報交換会参加申し込み”として下さい

CSFRT2023 山口 JART 特別企画のご案内と

アンケートご協力をお願い

CS9 実行委員 沼田美保 本田さだえ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年度 CS9 では CSFRT2023 山口 JART 特別企画とし、いつ起こりうるかわからない災害時の対応を専門の先生にご講演頂き、皆様とともに考えていきたいと思っております。

JART 特別企画:災害時の対応

テーマ「災害時に医療人として、何ができるか、何を優先すべきか？」

講師： 中田正明先生

(兵庫県災害医療センター/神戸赤十字病院)

日本災害医学会評議員、災害ロジステック検討委員会委員長)

日程： 2023年11月18(土)11:00～11:50

会場： KDDI維新ホール 第3会場

(※会場+後日オンデマンド配信予定)

また、この研修にそなえ災害時において貴施設での診療放射線技師としての対応策と経験に関する簡単なアンケートを作成いたしました。所要時間はおよそ5分で、15の質問があります。皆様の経験や知識をお聞かせください。

別添のチラシの QR コードか下記の URL からアクセスしていただき

9月30日までにご回答ください。 ご協力よろしく願いいたします。

(※URL が開かない場合がありますが、その際は QR コードで再度アクセスをお願いします。)

敬具

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdLX-osUa6TNcjjIW8dSnt3jTak3AV3sig16_4u4IPWJvuT-Q/viewform?usp=pp_url



Chugoku-Shikoku Forum for Radiological Technology 2023
第19回中四国放射線医療技術フォーラム
CSFRT 2023

JART 特別企画

災害時の役割と対応

—医療現場で求められる能力と対応—



災害時には迅速かつ的確な判断が求められます。
診療放射線技師が持つべき対応能力やスキルについて考えてみませんか。

事前アンケートを実施いたします。
ご協力をお願いします。



入力締切：
2023年9月30日

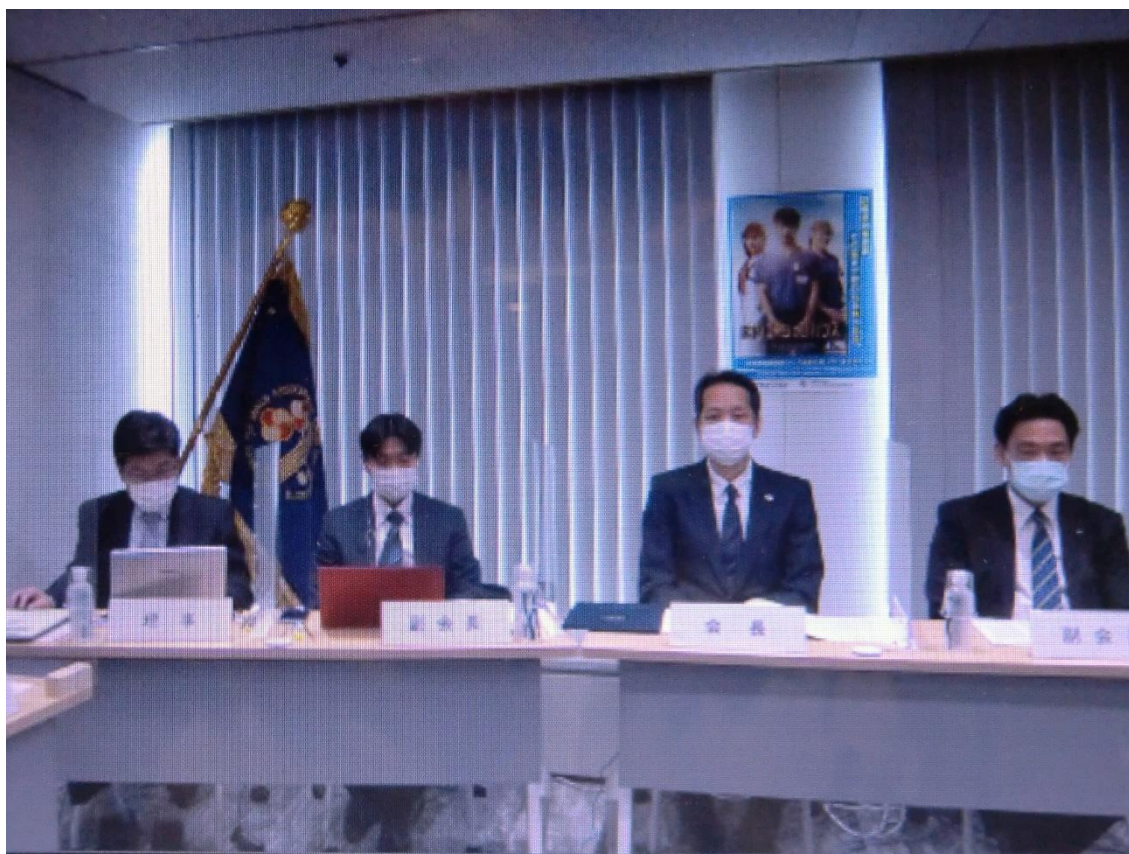
講師：中田 正明 先生
(兵庫県災害医療センター)

2023年11月18日(土) 11:00~11:50
会場：第3会場(2階 201C)

第 86 回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会 報告

岡山県代議員 小畑 慶己

第 86 回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が、令和 5 年 6 月 10 日(土)午前 10 時から東京都港区三田、三田国際ビル日本診療放射線技師会事務局会議室において WEB で開催されました。当日の総会の模様は WEB でライブ配信され、代議員はそれを視聴する形式でした。今年度の岡山県代議員は大野会長、高尾副会長、矢原常務理事、吉田常務理事、小畑監事の 5 名です。



総会は司会の園田理事より、今年度も昨年度と同様に WEB 開催で行うこと、議長選任、総会職員任命、また第 1 号議案から第 3 号議案の議決について WEB にて投票を行うことが確認されました。合わせて本総会は YouTube にてライブ配信をすること、録画をすることが確認されました。

本総会に現地出席できない監事、総会運営委員長、理事は WEB で参加する事が告げられ、富田副会長の開会宣言により開始されました。

最初に上田会長が挨拶をされ、本会の運営についてのご理解と今後の活動計画について紹介させていただき、昨今の地震や豪雨による被害について警戒し技師の皆さんの安全であること、国際社会での不安、医療におけるサプライチェーン、医療機器等の配送への影響、新型コロナウイルス感染症への対応等医療の面でも不安な状況もありますが、皆さんのご活躍も必要かと思われしますので引き続きお願いしたい。また内閣府においては規制改革について大いに議論がなされ、日本の大きな人口減少・社会の変化が予測されています。本会の運営自身も必要な改革について検討していく時代となりこれまでの運営についてご理解いただけるよう、よろしくお願いたします、と話されました。

会長あいさつの後、令和 4 年度、物故者 43 名の方々への黙祷が捧げられました。

続いて、令和 4 年度本会役員功労者表彰者 11 名、令和 4 年度地域役員功労者表彰者 17 名の名前が披露されました。また、勤続 50 年表彰者 33 名、勤続 30 年表彰者 285 名については、熊本学術大会において表彰される事が報告されました。

この後山本英雄総会運営委員長より、本総会は総会議事規程第 10 条第 2 項及び第 11 条に基づき、本日午前 9 時より総会運営委員会が開催された総会運営委員会の審議結果について報告され、本総会は WEB にて開催することが確認され、すべての議案に対して WEB にて投票することとする。各議題の委任状・議決権行使書が事前に不正なく集計されことを宣言し、代議員数 211 名のうち、本日 10 時現在 WEB での出席者代議員数は 171 名、委任状出席者は 7 名、議決権行使書提出者 16 名、合計 194 名となり定款第 18 条を満たしており、本総会が成立することが報告されました。なお表決には、総会議長 2 名の表決票は含めないこととする、という事も報告されました。

議長選出は立候補のあった、小林 功代議員(新潟県)と柳澤直樹代議員(長野県)が総会運営委員会より候補者として推薦することが承認され、代議員 WEB 投票において有効表決総数 194 票のうち、否決 0 票、保留 0 票、賛成 180 票、回答なし 14 票で賛成多数で本総会の議長に選出されました。

ここで選任された二名の議長と交代し、議案の進行担当については、第 1 号議案を小林が担当し、第 2 号議案・第 3 号議案を柳澤が担当することが確認されました。小林議長から議事に入る前に総会議事規程第 13 条第 3 項により、書記平山まさとし、採決係竹下しんじ、会場係 3 名(藪井健太郎、大橋かほ、加藤ひろゆき)が総会職員に任命され、代議員 WEB 投票において有効表決総数 194 票のうち、否決 0 票、保留 0 票、賛成 180 票、回答なし 14 票で賛成多数で承認されました。議事録署名人は、定款第 25 条第 2 項により、議長及び出席理事となりました。議事は、総会次第に沿って進められました。

1. 報告事項

令和 4(2022)年度事業報告として総括を上田会長が行いました。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症への対応も大きく変化し日常に戻る方向となった一方、ウクライナ紛争を始めとする不安定な世界情勢は、エネルギー問題や半導体不足など放射線医療においても大きく影響し、装置導入の遅れや、病院運営への影響も懸念されました。そのような社会情勢の中でも医師から診療放射線技師へのタスク・シフト/シェアは少しずつ実現している報告もなされました。

「令和 3 年度厚生労働省告示第 273 号研修」を各都道府県で開催し、年間合計 268 回開催しました。基礎講習修了者数は 21839 名、実技研修修了者数は 11834 名で、その内病院・診療所に勤める実技研修修了者は 10743 名であり、目標の 101.5%を達成したことを厚生労働省に報告しました。

クリニカルラダーを用いた生涯教育システムの運用を開始し、e-ラーニングも用いて幅広い年齢層の会員に向けて展開しました。従前の技師格等の実績をラダーに移行し本会会員情報に反映しました。

第 38 回日本診療放射線技師学術大会を神戸国際会議場において対面とオンデマンドのハイブリッド形式で開催し、一般演題 318 題、シンポジウム及び講演等 24 企画、兵庫県実行委員会からの 10 企画が実施され 1844 名(Web 含む)の参加登録がありました。

事務局における業務効率の向上のため、勤怠管理、決裁についての電子化を試行しました。

関連団体との協調強化として放射線診療 4 団体連絡協議会の参画団体として活動しました。

2023 年 4 月開催の第 31 回日本医学会総会に後援団体として登録され放射線診療関係の団体学会と共同出展の準備を行いました。

各都道府県(診療)放射線技師会との連携のため、地域理事が参画する地域理事会議を発足しました。各都道府県(診療)放射線技師会とオンライン懇談会を 6 回実施し、本会の事業と各都道府県の実情について



情報共有を図りました。

読影の補助事業を発展させるために STAT 画像報告の名称を用い放射線科診断医から診療放射線技師に教育を行うための学習システムを構築しました。

安全なタスク・シフト/シェアを実現するため日本医学放射線学会をはじめ業務拡大に関係した医学会等と協力し安全ガイドライン作成の準備を行いました。

性腺防護の国際動向を踏まえ、関係学会等と連携しシンポジウム等にて会員へ情報周知しました。

初めての企画となる公益社団法人日本放射線技術学会との合同学術大会を令和 6 年に沖縄コンベンションセンターで開催することを決定しました。

医療放射線安全管理推進のため、放射線の人体影響の知識向上に関する企画を会誌に連載しました。

本会創立 75 周年記念式典を開催し 222 名の参加があり 57 名の会員へ厚生労働大臣表彰授与がなされました。

学術研究に関する倫理規定を制定し、学術大会等における研究倫理の遵守と医療における質向上のための情報共有としての「報告」の演題区分を新たに設け、次年度からの学術大会における発表の在り方について啓発を図りました。

続いて、令和 4(2022)年度決算報告を財務担当の江端理事が行いました。

当年度の流動資産は、前年度より 1 億 3141 万 2773 円増加し、6 億 380 万 7592 円となりました。そのうち、当年度末における未収会費は、1588 万円であり、毎年「仮払金」としていた学術大会の助成金 5000000 円を「前渡金」として計上しました。また、正味財産合計は、7 億 2904 万 3949 となり、前年度より 4004 万 1631 円 (5.8%) 増加しました。

正味財産増減計画書より、経常収益は 6 億 9921 万 3617 円となり、前年度より 1 億 4980 万 8076 円の増加となりました。主な要因は、事業収益における「講習会受講料等収益」は診療放射線技師の新たな業務拡大に伴う令和 3 年度厚生労働省告示第 273 号研修実施及びイベント、セミナー、講習会の web 利用開催による受講者数の増加から前年度より 1 億 3564 万 510 円増加となったことです。また、学術大会助成金は本会と神戸市の 590 万 3804 円であります。経常収益のうち会費収入が 63.1%、事業収益が 34.6%で、予算に対する収入率は約 99%となりました。

経常費用は 6 億 5928 万 2591 円となりました。内訳は、事業費 5 億 2465 万 7969 円となり、対予算 1 億 3241 万 508 円の減少、管理費 1 億 3462 万 4622 円となり、対予算 431 万 2378 円の減少となっています。

当年度の公益目的事業収益は 4 億 7149 万 6132 円、同費用は 5 億 1071 万 5048 円であり、差額は 3921 万 8916 円の減少となりました。なお、公益目的事業比率は、77%です。

続いて、令和 4 年度監査報告を行いました。

最初に独立監査人による監査を大光監査法人が行いました。当監査法人は、令和 4 年度の貸借対照表、損益計画書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて貸借対象表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表について監査を行いました。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益(正味財産増減)の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。また、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める、と報告されました。



また、日本診療放射線技師会の令和 4 年度期末監査報告は小川 清監事より、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます、と報告されました。

執行部上田会長から、監査法人、監査委員の皆様にお礼を申し上げます、と報告があり、また役員辞任の案件について、本会の役員辞任に関してすでに役員辞任されています麻生智彦氏について、執行理事として就任されていましたが、本会と関係ない事案で司法の判断を仰ぐ立場にいます。本会の内部運営に関しては全く関係ない事案であることが報告されました。

また、総務の園田理事より、令和 4 年度各種講習会・セミナー等実績報告に一部数字について誤植がありましたが、すでに代議員の皆様にご送らせて頂きましたことについて報告がありました。

次に、質疑に入り、

(質問 1) 江田(東京都): 14 ページ A.4.1 がん検診受診率 50%向上の中の NN で報告した。とありますが、掲載が見当たらないこと。また、国民・会員に対して受診率 50%向上をどのように活動したのか教えてください。

(回答) 高橋理事: NN での掲載漏れであり、次号で掲載させていただきます。

園田理事: 受診率 50%向上を大会参加により広報委員より広報させていただきましたが、次年度にかけて再度どのように出来るかを検討させていただきます。

江田(東京都): 受診率 50%向上に関しては、JART のみならず、東京都診療放射線技師会も協力させていただきます。

(質問 2) 鮭川(東京都): 20 ページ S.4 任意加入保険に関する事業について、任意加入は現在何名ずつ加入されているのか。

(回答) 江端理事: 任意加入について昨年度実績で、A プラン 5233 名、B プラン 881 名で、約 31000 名のうち、約 6000 名の方が加入しています。理事会においても、任意保険の加入者を増やしていきたい。

鮭川(東京都): 私の方も、JART を通じ、入会促進を図っていきたい。

(質問 3) 山岸(千葉県): 12 ページ A.1.1 基礎技術講習会の内容について見直し・更新を定期的に検討されているのでしょうか。

(回答) 川守田理事(学術): 生涯教育を含めて様々な講習会の見直しを今後進めていきます。

山岸(千葉県): ありがとうございます。今後を期待しております。

以上をもって、令和 4 年度事業報告、決算報告、監査報告を終了した。

次に、令和 5 年度事業計画ならびに予算について報告が行われました。

まず、上田会長から、令和 5 年度事業計画の概要について、

ウクライナ紛争を始めとする不安定な世界情勢は、エネルギー問題や半導体不足など放射線医療においても大きく影響しており装置導入の遅れも報告されており、今後も様々な状況を配慮した病院運営が必要となっており、診療放射線技師も将来を見据えた対応が求められている。令和 5 年度事業については、令和 4 年度事業を継続し、より発展させていく中で新たな事業も展開していく。以下に令和 5 年度事業計画の概要を述べる。

令和 3 年度に改正診療放射線技師法が施行され厚生労働省から指定された「令和 3 年厚生労働省告示第 273 号研修」について各都道府県にて年間 240 回以上の開催を目標とする。



読影の補助事業を発展させるためにSTAT画像報告の名称を用い放射線科診断医からの教育を受け、すべての診療放射線技師が緊急異常所見を報告できるよう新しい展開を推進する。令和4年改正の人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に対応した研究倫理と本会学術大会における対応の周知徹底する。性腺防護の国際動向を踏まえ関係学会等と連携し患者対応を検討する。医療放射線安全管理推進のため放射線の人体影響の知識向上企画の会誌掲載を継続する。組織率向上のため入会促進、退会抑制方策を検討し実施する。診療報酬改定に向けた要望事項整理のための調査を実施する。クリニカルラダーを用いた生涯学習制度を周知しeラーニングも用い幅広い年齢層の会員に向けて実施する。事業及び事務局業務においてDXを推進する。診療放射線技師の需給についての調査を実施する。第39回日本診療放射線技師学術大会(JCRT)を熊本城ホールにおいて開催する。オンラインのハイブリッド形式の大会を目指して一般社団法人熊本県放射線技師会と協力し開催する。第40回JCRTを日本放射線技術学会と合同開催とし、第1回日本放射線医療技術学術大会として2024年開催に向けて準備する。関連団体との協調強化を継続し、本会事業を理解頂くとともに本会に求められる事業については積極的に対応する。

本会の事業運営全般について各都道府県(診療)放射線技師会との連携を強化し、会員へのサービスの充実、研修等の協力体制について情報共有を十分に行ない活動する。各都道府県とオンライン懇談会を実施し情報共有を図る。

以下に、令和5年度の主な事業計画案を挙げる。

1. 告示第273号研修
2. STAT画像報告事業
3. 研究倫理指針改正対応
4. 性腺防護の国際動向を踏まえた対応
5. 組織率向上
6. 医療放射線安全管理推進
7. 2024年度診療報酬改定に向けた調査
8. ラダーを取り入れた生涯教育制度実施
9. 第39回日本診療放射線技師学術大会実施
10. 第40回日本診療放射線技師学術大会(第1回日本放射線医療技術学術大会)準備
11. 国際事業を通じてISSRTの活動を支援

本会は以上の事業展開により、医療放射線技術の向上、研究と啓発を進めるとともに、放射線診療の安全確保ならびに診療放射線技師の生涯教育を推進し、公衆衛生の向上ならびに国民保健の維持発展に寄与する。また、説明責任及び透明性を公益社団法人の基本として運営していく所存であり、会員の皆様方のご理解とご協力をお願いする次第である、と述べられました。

令和5年度のスローガン

「期待される診療放射線技師の役割に応えよう」

引き続き、令和5年度予算について江端理事より予算の概要報告がありました。

令和5年度の事業計画に基づき、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の3つの区分を設け予算を作成した。経常収益は、正会員会費は、本年度会費(未収分も含む)と過年度会費を加え4億4200万円を、事業収益は2億4761万5905円を見込み、経常収益は6億9908万905円とした。なお、受取入会金と正会員会費は、公益認定申請に基づき公益目的事業会計の比率50%を下回らないように配分した。経常費



用は、公益目的事業費で 5 億 8144 万 1556 円、収益事業費で 1372 万 462 円、管理費で 1 億 4705 万 3000 円の合計 7 億 4221 万 5018 円を見込んだ。大きな内訳は、令和 3 年厚生労働省告示第 273 号研修(告示研修)を盛り込んだ A 事業で 2 億 1490 万 6183 円。熊本城ホールにて開催する第 39 回日本診療放射線技師学術大会、会誌の発行及び国民が集うイベントや教育機関を通じた広報に関する事業を盛り込んだ B 事業で 1 億 7497 万 9260 円。ほかに分科会による資格認定に関する事業を含む D 事業で 4072 万 5963 円を計上している。本年度予算では講習会や各種試験のオンライン実施にかかるシステム構築にも費用を計上している。web の活用により会員の居住地に依らないイベントへの参加機会の実現にむけ引き続き予算を計上している。また、事務所維持費(賃借料含む)、職員人件費、減価償却費等は、公益認定申請書(F 表)の配賦割合に基づき事業費と管理費へ振り分けを行った。正味財産期末残高を 6 億 8590 万 9836 円とした。参考までに公益法人申請時における公益目的事業ごとの事業ベースの収支予算書を添付した。収支の差額は管理費より充当する、と報告がありました。

次に、質疑に入り、

(質問 1) 江田(東京都): 入会促進活動についての質問で、現在は、フレッシュャーズセミナーと入会促進パンフによるものですが、東京都では初年度無料としているが、JART においても同様にすることが出来るかどうか可能性をお聞きしたい。

(回答) 富田副会長: 本会としても入会促進については、執行部においても検討中でまとめ次第報告させていただきます。

(質問 2) 小林(東京都): 55 ページ業務拡大に伴う統一講習会の継続実施について、JART として何回開催を予定しているのか。また、事業継続について事業開始から 8~9 年経過して講師の高齢化や人数不足等により講師増員やテキスト改訂等の見直しが必要ではないか。

(回答) 江端理事(財務): 今年度各都道府県より計画されている統一講習会ですが、東北地区で 2 回、北関東地区で 11 回、近畿地区で 4 回を申請頂いています。今年度の予算に計上しています。

上田会長: 今後の展開について、統一講習会については、2015 年の業務拡大に対応で、現在のタスク・シフト/シェアに関する改正診療放射線技師法は、この 2015 年の業務拡大に対応された前提で法律改正されており、本会としても統一講習会未受講の方は、受講していただきたいと考えています。すでに様々なタスク・シフト/シェアが行われていますので統一講習会の必要性については厚生労働省と検討しながら、今後いつまで実施するかを改めて検討して、会員の皆様に周知していきます。

(質問 3) 高野(東京都): 55 ページ告示研修について昨年度実技研修の目標が 300 回に対して実績が 268 回で 101% 達成とあり、今年度目標が 240 回となっている根拠について教えて頂きたい。

(回答) 児玉副会長: 1 回の受講者 48 名を 240 回行うと約 11000 名参加が見込まれています。厚生労働省では、令和 3 年の法律改正の際に、5 年間で 33000 名の講習会受講終了するよう目標設定されています。達成するために、年間 10500 名終了する必要がある、厚生労働省に報告する事項で、かつ厚生労働省の基礎資料となっています。昨年度 10700 名超えて終了したということで目標値 101% 達成した事から、今年度も年間 240 回、1 回の受講者数 48 名で受講して頂くと目標を達成できるので、各都道府県でそれ以上開催して頂いて結構ですので、皆様に周知、参加呼びかけのご協力をお願いします。

(質問 4) 福士(茨城県): 61 ページ S.1 表彰に関する事業について(5)その他、必要に応じた表彰についての所で、ご提案をしたい。養成校に勤務していますが、卒業式の時に優秀な学生について他職種の学科については表彰者があるが、診療放射線学科だけ表彰者がいないので、JART で見直しをしていただきたい。

(回答) 上田会長: 執行部表彰委員会において、頂いたご提案を検討させていただきます。



福士(茨城県):ぜひ、お願いいたします。
以上で、令和5年度事業計画、予算について 終了します。
これで、報告事項は終了しました。

2. 議案

第1号議案 会費等納入規程改正(案)について

江藤理事より、資料 69 ページの会費等納入規程第 11 条について、「出産、育児」に関する会費免除についてわかりやすく具体的に規定する。(その他の免除)は第 12 条とし、「出産、育児」を除き、以下の条番号を変更する、との説明がありました。

特に、質疑無く、

採決結果は、否決 0 票、保留 2 票、賛成 182 票、回答なし 10 票 で、賛成多数で承認されました。

議長交代で、柳澤直樹(長野県)議長から

第2号議案 北村善明元会長の名誉会員について

上田会長から、資料 71 ページの北村善明元会長の名誉会員の推薦について推薦理由、北村善明氏功績等のご紹介があり、定款第5条第1項第2号に基づく名誉会員に推薦いたします。なお、推薦にあたり、2022 年度第6回理事会にて審議し承認を得ていることを申し添えます。との説明がありました。

特に、質疑無く、

採決結果は、否決 0 票、保留 1 票、賛成 179 票、回答なし 14 票 で、賛成多数で承認されました。

第3号議案 会計監査法人の選任について

会計監査人の選任については、監事3名により提案がありました。

定款第 14 条 2 号、同第 26 条第 4 項、同第 27 条、同第 31 条 4 項、役員選任規程第 9 条により現任の会計監査人任期終了による新たな会計監査人の選任を提案する。

特に、質疑無く、

採決結果は、否決 0 票、保留 2 票、賛成 178 票、回答なし 14 票 で、賛成多数で承認されました。

以上で、本日予定の議案がすべて終了となりました。これもちまして、議長解任となりました。

その後、本年度開催される第 39 回日本診療放射線技師学術大会(熊本)について西小野昭人大会長より案内がありました。

最後に、児玉副会長により閉会の辞が述べられ、第86回定時総会は無事終了しました。

第147回岡山県放射線技師会セミナー開催報告

学術担当 津山中央病院 山本崇裕

令和5年6月11日、第147回岡放技セミナーが集会型とWebinarを併用したハイブリッド形式で開催されました。昨年度と同様、通常総会に併せての開催となりました。

プログラムは予定通り教育講演1演題、Lunch Free Seminarとして1演題、会員成果報告会として岡山県内各研究会推薦の6演題のご講演を頂きました。

教育講演では『MRI ファントム創造 -秘伝のレシピ伝授します-』と題して長野赤十字病院 山城晶弘 先生よりご講演頂きました。

MRIに限らず、人体を対象とする研究においては倫理面でハードルの高い現状となりつつあるなか、先生の失敗や経験からファントム作成の極意を講演いただきました。

ファントム試料も比較的手軽に入手できるもので作成されており自施設に持ち帰ってお試しできる内容でありました。試料は誰が何度作っても同じものができるよう再現性、煩雑性を考慮したレシピとなっており、大変興味深いものでした。

Lunch Free Seminarでは『AIプラットフォームの展開』と題してエムスリーAI株式会社 黒石 裕美子 先生よりご講演頂きました。

画像診断支援においてAIが画像診断管理加算の要件として追加されたこともあり注目度が増している分野ですが、実際に我々がどのような恩恵を受けているのかはいまいちピンときていないというのが現状です。実際に全国の施設ではどのように使われているのかなど細かくご教示いただきました。胸部単純写真1つとっても、放射線科医が所見として挙げていないところもAIは挙げているなど、機能的なメリットを知る一方、あくまでも診断「支援」という立ち位置でありヒトに取って代わるようなことはならない、なってはいけないところであるという認識を再度持つことができました。また、エムスリーAI株式会社ではwebブラウザ上でAIトライアルができるようなので興味がある方は「M3 AI Platform」と検索してみてください。

会員成果報告会では昨年度行われた学会発表や論文投稿などの実績を踏まえて岡山県内より各研究会から推薦いただいた先生方から報告をいただきました。各モダリティより6演題発表いただきましたが、長文となるため演題名および推薦団体の記載のみに留めさせていただきます。

① 『177Lu SPECT 画像のコリメータとフォトピークの違いによる画質の評価』

岡山大学病院 医療技術部 放射線部門 浅沼哲雄 先生(岡山核医学技塾)

② 『大腿骨不顕性骨折に対する単純 X 線画像を用いた最適な周波数処理の検討』

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 城野弘樹 先生(マスカットデジタルイメージングセミナー)

③ 『股関節観血的整復固定術における術者水晶体線量の検討』

川崎医科大学附属病院 中央放射線部 徳重祥也 先生(OKAYAMA IVR meeting)

④ 『Metal Artifact Reduction によるアーチファクト低減量推定法の考察』

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 川崎侑紀 先生(岡山 CT 技術研究会)

⑤ 『視覚的指示システムを用いた体幹部定位治療における呼吸制御効果の検討』

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 後藤優治 先生(岡山県放射線治療技術研究会)



事務所開所時間：月・火・木・金 10:00～14:00 水 10:00～12:00

⑥ 『 地方中核病院における COVID-19 患者に対する MRI 検査の運用 』

岡山済生会総合病院 放射線技術科 吉村祐樹 先生(岡山 MRI 撮像技術研究会)

普段の業務の中でも触れることのないモダリティの発表を聴講する機会がなかなかないため、いずれも貴重な機会となりました。

セミナー参加総数としては現地とwebを合わせて70名程度でした。新型コロナの5類感染症移行後はじめてのセミナーで参加者の動向が気になりましたが、現地会場の人数が普段より多かった印象を受けました。おおよそは通常総会に併せての開催であったためと考えられますが、現場の臨場感や他施設との交流を深める意味でも現地へ足が伸びる数が増えることを期待する一方、コロナ禍で得られた恩恵の一つであるweb会議システムの発展は多大なものであり完全に逆戻りすることはないだろうと感じる次第でした。



会場の様子

第2回フットサル大会を(やっと)開催することができました

福利厚生委員長 国府島 昌之

令和5年5月28日(日)、総社市秦のサントピア総社において第2回フットサル大会を開催いたしました。令和元年に第1回の大会を催し、『さあ、今年も!!』と思っていたら突然の新型コロナウイルスの襲来…。今年になって様々な規制がなくなり、やっと2回目の開催です。期待と(ほぼ)不安の中、総勢5チーム、45名もの方々が参加して下さいました。

当日はやや雲が多いながらも初夏の暑い空のもと、グングン上がる気温と同様に皆さんのプレーが白熱していきました。前回も一般からの参加もありましたが、今回は特に診療放射線技師以外の医療従事者の参加も多く、交流の場として非常に有意義な場を用意することができたのではないかと自画自賛しています。参加されて下さりました方々も含め、ご協力して下さいました皆様に改めまして感謝とお礼を申し上げます。

なお、私事ではございますが、今季を持ちまして理事の任を一旦退くこととなりました。これまで数多くのご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。新担当理事の元、来年度以降もこのフットサル大会を軸に会員の皆様に幅広く参加いただけるような福利厚生事業となっていくことと思います。その際には、皆様の同僚や同業他種の医療従事者、一般の友人などの参加もOKとなっておりますので、是非ともお誘いいただき次回の開催時に熱いプレーを見せていただければと思います。勿論、今回参加の皆様には次回参加も期待しています。

参加チーム

A: 岡山中央病院

岡山中央病院: 7名

B: 津山中央病

津山中央病院: 11名

C: Jimny

金光病院: 5名

第一学院高等学校: 1名

矢掛町立美川小学校: 1名

D: 倉敷中央病院

倉敷中央病院: 10名

E: 竜操旭東ち一む

竜操整形外科病院: 3名

岡山旭東病院: 7名

試合結果

優勝: Jimny

2位: 倉敷中央病院

3位: 津山中央病院

4位: 岡山中央病院

5位: 竜操旭東ち一む





お知らせ

サーベイメータ貸出について

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、漏洩線量の測定のため、会員施設を中心にサーベイメータの貸出を行っています。

貸出を希望される方は申込書をファックスかEメールで岡山県診療放射線技師会までご連絡下さい。

貸出申込書は岡山県診療放射線技師会のホームページにあります。

サーベイメータの引き渡しは本会事務室にて行ないます。

貸出使用料の請求は本会が使用者あてに後日行います。

サーベイメータ貸出規程

- 1 ALOKA 社製 電離箱式サーベイメータ 1台 (トランシーバー2台を含む)
(サーベイメータは年1回の校正を行っています)
- 2 貸出料金 1週間 30,000 円(税抜) 1回の貸出は1週間を限度とする
- 3 会員以外への利用は規程の倍額とする
- 4 本会の活動に有益と思われる場合は代表理事の承認を得て利用料を免除することができる
- 5 使用に関して、故障・水漏れ・落下により修理が必要となった場合、修理費の一部として10,000 円を支払い頂く

※その他、ご不明な点やご質問、ご要望などございましたら、お気軽にお問合せ下さい



エックス線室の漏洩線量測定事業

岡山県診療放射線技師会では、線量測定委員が各施設にお伺いしてエックス線室漏洩線量測定する事業を行っています。漏洩線量測定をご希望の方は、岡山県診療放射線技師会までご連絡お願いいたします。測定日時について調整させていただきます。

測定の流れ

1. 測定図面の作成

初回測定時に今までの線量測定結果とX線撮影室の平面図を担当者にお渡し下さい。
(2回目以降は必要ありません) 戴いた図面を元に漏洩線量測定図面を作成します。

2. 漏洩線量の測定

測定員2名以上を派遣し、漏洩線量測定を実施します

(X線装置の操作は病院様側でお願いします。

これをもって病院様の立会者とさせていただきます)

サーベイメータ、ファントム、トランシーバー等、必要な備品は当方で準備いたします。

3. 測定結果報告書の作成

後日、漏洩線量測定結果報告書をお届けします。法定規制値以下と認められた施設には撮影室入り口ドアに貼る、測定済証のステッカーもお送りします。

測定時間

1室約30分

測定料金

基本料金 20,000 円 + 1 装置・1 管球追加毎に 10,000 円 を加算させていただきます。

測定をご希望の施設がありましたら、岡山県診療放射線技師会まで、お気軽にご相談下さい。

お申し込み先

〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町 16-10-201

(公社) 岡山県診療放射線技師会 施設線量測定委員会 宛

Tel 086-235-1313



お知らせ

「変更届」提出のお願い

勤務先・自宅住所など変更をされた方は、岡放技事務局まで「変更届」に変更内容を記入してお送りください。

「変更届」用紙はホームページのメニュー「入会・変更など」にあります。

日本診療放射線技師会 JART にもご入会の方は、JART のホームページよりログイン後、ご自身で登録情報の変更ができます。【推奨】

(ログインできない方は、岡放技への申請により JART の変更支援を致します。)

岡放技独自の会員台帳にて会費管理やニュースの発送など様々な処理をしておりますので、是非とも、お忘れなくお知らせください。よろしくお願ひ致します。

【送り先】

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

岡山県診療放射線技師会 事務局

FAX : 086-235-1515

Mail : oart@oart.jp

《追伸》

過去に引越しをされて、住所変更を出されていない方もおられるようです。

確認の為に送って頂くのも歓迎です。よろしくお願ひ致します。



お知らせ

岡山県診療放射線技師会

公式 LINE アカウントのお知らせ

広報委員会では会員の方のご要望にお応えし、LINE 公式アカウントを開設いたしました。下記 QR コードより「友だち追加」をしていただくことでホームページの更新情報をよりスムーズにご覧になれます。

多数のご登録をよろしくお願いいたします。

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@909pjmdq

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



広報委員会より お知らせ

岡放技 LINE公式アカウント を作成しました。

ホームページの情報を
よりスムーズに
ご覧いただけます。

ぜひ「友だち追加」
してください！

令和5年度 (公社)岡山県診療放射線技師会 行事(活動)予定

7月					
8月					
9月	9月3日	日	第148回岡放技セミナー	12:25 ~ 15:15	岡山旭東病院(ハイブリッド開催)
	9月9日	土	第149回岡放技セミナー(フレッシュズセミナー)	13:30 ~ 18:10	ビューアリティまきび
	〃	〃	第22回情報交換会	18:30~	〃
	9月29日~10月1日	金~日	※ 第39回日本診療放射線技師学術大会	HP参照	熊本城ホール(熊本市)
10月					
11月	11月18~19日	土、日	第19回中四国放射線医療技術フォーラム	HP参照	KDDI維新ホール(山口市)
	11月26日	日	第150回岡放技セミナー(予定)	13:00 ~ 15:00	未定
12月					
令和6年					
1月	1月28日	日	第151回岡放技セミナー(予定)	13:00 ~ 15:00	未定
2月					
3月					
4月					
5月					
6月					

※ 日本診療放射線技師会(JART)主催

事務所開所時間：月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00~12:00

